

業務部速報



No. 21

発行 25. 7. 28

JR東労組 業務部

「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」
申2号 に関する説明申し入れ(その2) **7月25日 団体交渉を行う! ⑤**

【組織の見直し】31項目

9. My Project を発展的に解消する理由を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ My Project というツールを使わなくても、業務をしながら改善できるようになっている。 ・ 働き方が変わってきている中、新たなものをつくる考えはない。	

10. 既に入社済みの社員に対する県単位での運用への、移行方法について具体的に明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ 採用や異動により、その県で運用できる社員が増えないと戻れないので段階的に移行していく。 ・ 自己申告書や1 on 1 ミーティングで生活設計やキャリアを把握しながら徐々に移行する。 ・ 雇用契約等の変更ではなく、運用として行っていく。	

11. 各事業本部内での異動について、発令と担務変更の取り扱いの違いを明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ ユニット間は担務変更。部・事業本部間が発令。	

12. 所属する事業本部外や採用エリア外への異動に対する考え方を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ 基本的な考え方は任用の基準である。 ・ 本人希望に沿わない場合もあり得る。 ・ 離職、転職されては困るが、業務が回らなくては困る。バランスを見て行っていく。	

13. 異常時等において、事業本部間を跨ぐ取り扱いの考え方について明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ 今も現地対策本部は初動発生箇所。支社対策本部は各支社の箇所であり、その考えは引き継ぐ。	

14. 現在、各本部・支社所属の統括センター内にある乗務ユニットについて、現在のユニットの形態を維持したまま事業本部に移行するのか明らかにすること。また、事業本部設置後に行路の持ち替えや統廃合の考えがあるのか明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
・ 事業本部における詳細の事業執行体制については、地方提案時に示す。 ・ 統括センターのユニットについて社内規程で決まっているものではない。地域共創モビリティサービスUTに組み込まれていく。 ・ 行路の持ち替えが発生する場合は、ダイヤ改正で行う。	

⑥に続く